

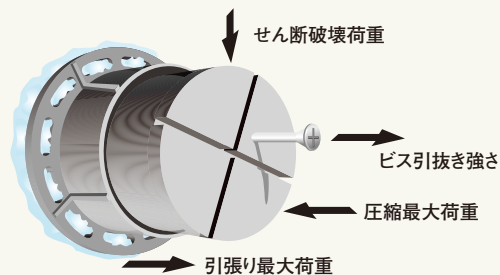
壁アジャスター工法
スクリューパーッキン(S-P-Nタイプ)(S-P-N-Sタイプ)

商品詳細

■各試験項目と性能値

試験項目	フビスクリューパッキン
ビス引き抜き強さ	1260N
圧縮最大荷重	6600N
引張り最大荷重	3330N
せん断破壊荷重	1120N

上記試験結果は保証値ではありません。



■スクリューパーッキン「SW工法」割付例

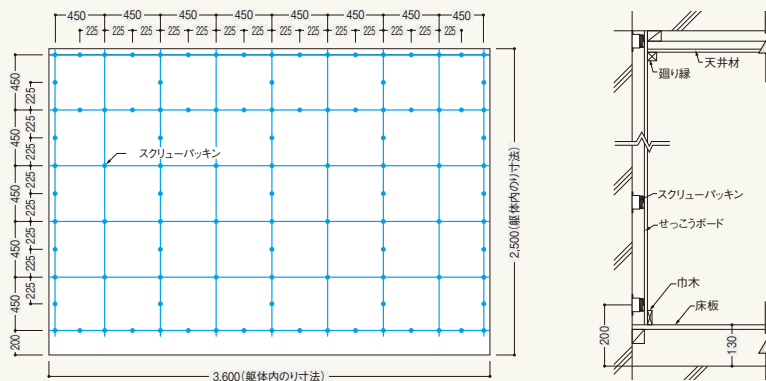
SW工法 — A

(スクリューパーッキンのみの場合)

- スクリューパーッキンの取付け間隔は、約450mmとします。但し、壁面の周囲、およびパネルの突き付け面のスクリューパーッキン取付け間隔は1/2(約225mm)にしてください。

スクリューパーッキン

1㎡当たり約12個使用します。



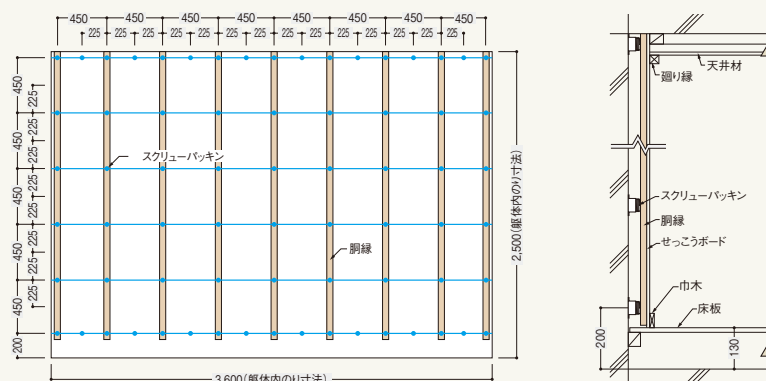
SW工法 — B

(縦胴縁の取付け基材にスクリューパーッキンを使用する場合)

- 縦方向に胴縁を使用する場合、スクリューパーッキンの取付け間隔は、約450mmとします。但し、上部横一列と下部横一列は、スクリューパーッキンを1/2間隔(約225mm)で取付けてください。

スクリューパーッキン

1㎡当たり約9個使用します。



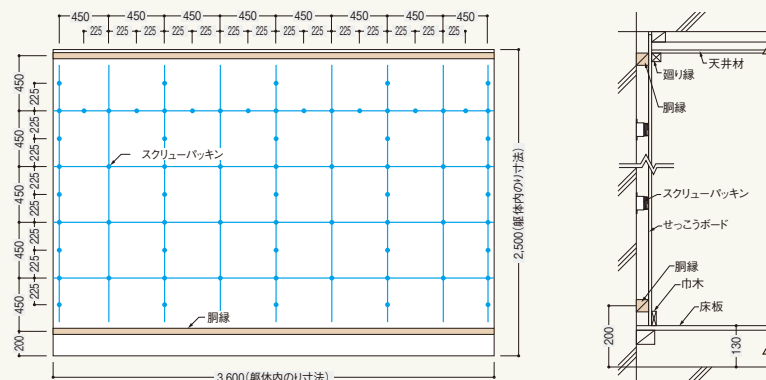
SW工法 — C

(天井と床の納まりに胴縁を使用する場合)

- SW工法—Aのスクリューパーッキンの割付けと同様に行ない、上下横一列に、壁の厚さに調整した胴縁を直接躯体に取付けてください。

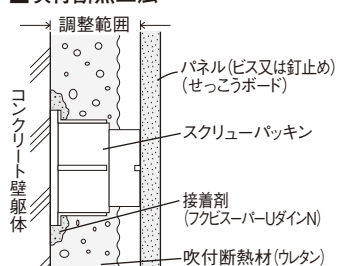
スクリューパーッキン

1㎡当たり約8個使用します。

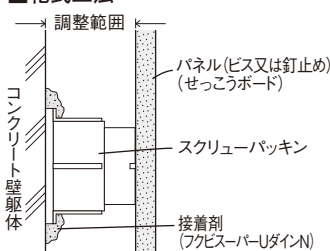


■施工断面図

■吹付断熱工法



■乾式工法



■胴縁工法

